



図書館システムをリニューアル



3月1日から、図書館総合情報管理システムがリニューアルされます。

2月21日から29日まで蔵書点検に合わせて行われたシステム更新で、情報化社会にふさわしい最新のシステムを導入。市民の皆さんが求める情報を、これまで以上にきめ細かく提供することが可能となります。

この新システムの導入に合わせ、図書館では、3月1日から新サービスなどを始めます。

●電話による自動音声応答サービス

専用ダイヤルで、図書館からの各種情報を自動音声でご案内。県内図書館では初のサービスとなります。

【ダイヤル】☎78-0070

【メニュー】①休館日のお知らせ ②行事等のお知らせ ③ご自身の貸出中資料の確認 ④ご自身の予約中資料の確認 ⑤パスワードの変更 ⑥FAX受信

●利用者セルフ貸出端末の設置

貸出手続きの迅速化と貸出プライバシーの保護のため、利用者自身が、図

書館資料の貸出手続きができる「利用者用セルフ貸出端末」(写真:上)を、市立図書館1階ロビーに2台、2階一般閲覧室に2台、計4台設置します。

●ホームページもリニューアル

図書館に寄せられる多くの質問をデータベース化してHP上で公開。市民の皆さんの学習、調査、研究を積極的に支援する「レファレンス・データベース」のほか、ご自身の貸出、予約情報を確認できるマイ・ページ機能を付加して、HPがさらに利用しやすくなります。

また、情報処理能力が向上したことにより、今後は「市史」などの郷土資料の電子図書化を図り、ご家庭のパソコンで閲覧できるシステムを構築するなど、ICT(情報通信技術)社会に対応した図書館となるよう努めます。

システムがリニューアルされ、より使いやすくなった図書館。お気軽にご利用ください。

詳しくは、市立図書館(☎78-2622)でお尋ねください。

市民便利帳と電話帳 合冊版を共同発行 —今年10月に配布—

市とNTT番号情報株式会社は2月20日、市の行政サービスなどを載せた「市民便利帳」と電話帳「タウンページ」「ハローページ」を一冊にまとめた合冊情報誌を共同制作する合意書を交わしました。自治体と同社が合冊情報誌を作るのは、県内で初めての試みです。

締結式では、小川市長とNTT番号情報株式会社の大木隆中部営業本部長が合意書に署名。小川市長は「電話帳との一体化は、利便性も向上し、市民サービスの向上につながる。市民の皆さんに大いに活用してもらいたい」と話しました。

市政情報と電話番号の双方の情報が1冊で閲覧でき、毎年更新される便利な合冊情報誌は、今後発行準備を進め、8万5,000部を制作予定。

今年10月には、NTT番号情報株式会社を通じ、市内のご家庭や事業所に配布される予定です。



完成見本を手に並ぶ、小川市長とNTT番号情報株式会社の大木中部営業本部長(右)

市の木・花・魚を シンボルデザイン化

市は、市の木・花・魚をクスノキ・サツキ・ハリヨに定めています。これらが、市民の皆さんに一層親しまれ、大垣の魅力として全国に発信できるよう、大垣の「大」の文字を重ねたシンボルデザインを制作しました。シンボルデザインは、市のデザインマニュアルに基づき、市民の皆さんもご利用いただけます。詳しくは、政策調整課(内線293)でお尋ねください。

【市の木：クスノキ】



クスノキの緑色で印象的に表現しました。クスノキは、常緑樹で、葉には光沢と芳香があり、大木になります。成長力に富むことから、伸びゆく大垣市を象徴するのにふさわしいシンボルです。



【市の花：サツキ】



サツキの桃色で印象的に表現しました。5月～6月にかけて、きれいな花を咲かせるサツキは、多くの市民に親しまれ、家庭はもとより、市内の公園やグリーンベルトを彩る大垣市のシンボルです。



【市の魚：ハリヨ】



きれいな水に棲むハリヨを青色で印象的に表現しました。冷たくてきれいな湧き水やその近くにしか生息しないハリヨは、大垣市の豊かな水環境を守っていくシンボルです。

